

野田市エンゼルプラン第5期計画（野田市子ども・子育て支援事業計画 （第2期計画））中間見直し（素案）に対する意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

野田市エンゼルプラン第5期計画（野田市子ども・子育て支援事業計画
（第2期計画））中間見直し（素案）

2 意見の募集期間

令和4年12月8日（木曜日）から令和5年1月11日（水曜日）まで

3 意見の募集結果

①提出者数・意見数		3人	5件
②提出方法	直接持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	F A X	0人	0件
	Eメール	3人	5件
③政策等に反映した意見			0件

4 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
P. 65 総論 7 子どもの貧困対策の位置付け			
1	<p>貧困の連鎖を止めるには、認知能力を訓練し、正しい判断ができるようにすることが唯一の方法であり、その支援として、「家を出たいと思った子が全員入れる学生寮付きの県立高校」を地元の県立関宿高校と一緒に実現する。</p>	<p>野田市では、全ての子どもたちが将来への希望を持って進路を選択できるように、放課後における児童生徒の自主的な学習をサポートし、基礎学力の向上や学習習慣の定着、学習に対する興味、関心を高めるため、市内公立中学校の希望する全ての生徒と、市内公立小学校の希望する3年生を対象として、学習支援を継続的に行うことで、子どもたちが将来、自立して社会生活を営むことができるよう事業に取り組んでいます。</p> <p>ご提案いただきました「家を出たいと思った子が全員入れる学生寮付きの県立高校」を地元の県立関宿高校と一緒に実現する」のご意見につきましては、所管が千葉県教育委員会となることから、千葉県教育委員会及び千葉県立関宿高等学校と野田市教育委員会及び関宿地区中学校3校が集まる「関宿地域連携型中高一貫教育推進委員会」の場において、ご提案の内容についてお伝えさせていただきます。</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
P. 65 総論 7 子どもの貧困対策の位置付け			
2	<p>特に厳しい生活環境に置かれている母子家庭等のひとり親家庭を支援するため、ひとり親が安心してお金を稼ぐことができる環境の提供が、自立と貧困の連鎖からの脱却を可能にすると考え、「シングルマザー専用の家政婦付食事付きの市営住宅」の事業を提案する。</p>	<p>ひとり親家庭の保護者が就労に専念できるよう保育所や学童保育所の運営を始め、子育て経験者や保育士等が育児や家事をサポートする育児支援、就業やスキルアップに有利な資格取得に対する助成等を行う就業支援、病児保育や養育費取得に向けた支援、市営住宅への優先入居や賃貸住宅の家賃助成等を行う住居支援などがありますので、これらの支援を組み合わせご利用いただくことで、育児と仕事の両立に向け、働くひとり親を幅広く支援しているところです。</p> <p>ひとり親家庭に対する市営住宅の支援については、現在、入居募集の際に、ひとり親家庭専用住戸を2戸程度用意しています。加えて、一般住戸に申込みをして抽選となった場合には、抽選回数に影響する住宅困窮度の点数を扶養人数に応じて加算し、ひとり親家庭の入居に配慮しています。</p> <p>また、ひとり親家庭となって6か月以内で、市内の民間賃貸住宅へ入居しようとする児童扶養手当の所得制限限度額未満の方に対し、賃貸借契約時に要する家賃等の費用の一部を助成しています。</p> <p>なお、市営住宅の制度上、ひとり親専用の家政婦付き食事つき住宅の提供は予定していません。</p>	修正無し
P. 91 事業番号14 病児・病後児保育の充実			
3	<p>子供が病気がちで、保育園に預けられず、まともに働くことができない。</p> <p>病児保育はあるが、遠いことや手続きが煩雑で、頻繁に起こる病児を預けるのはハードルが高いので、保育園に保健室みたいな場所を用意し、具合の悪い子供を預かってもらえるようなサービスを検討してほしい。</p>	<p>具合の悪い子どもの安全性確保や通常保育利用の子どもへの感染リスクを抑えるため、通常保育利用の児童と完全隔離する必要がありますので、既存保育所の空き部屋等をそのまま利用することはできず、保育士の確保も困難な状況です。</p> <p>このため、保育所での預かりが難しい児童の臨時的保育に対応できる病児保育事業として、出入り口やトイレも含め、通常保育利用の児童と完全隔離する設備があり、看護師を配置した保育所併設型病児保育施設「フォレストルーム」を開設しております。</p> <p>子どもの具合が悪くなる前に事前登録を可能としておりますが、よりスムーズに利用できるよう、手続きについては、サービス改善を検討してまいります。</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
P. 97 事業番号19 巡回相談等による相談支援体制の充実			
4	<p>育児支援で有名な明石市では「おむつ定期便」という事業があり育児コストの高いおむつ代を支援するだけでなく、市長や職員がおむつを持って家庭を訪問し、市民の声を吸い上げているそうです。</p> <p>野田市にも取り入れて頂けると幸いです。</p>	<p>明石市の実施するおむつ定期便事業は、生活協同組合の子育て経験者が訪問するもので、単におむつなどを配布するだけではなく、0歳児を養育する家庭の定期的な見守りや気軽な相談先として有効な事業であると考えておりますが、一方で専門職ではない配達員への相談により、保護者の困り感や真に隠れた部分の見落とし、また見守りの形骸化が危惧されると考えております。</p> <p>現在野田市では、専門職による相談と様々なサービスの組合せによる子育て支援を行っており、支援策の例示といたしまして、国の「出産・子育て応援給付金」及び市独自の「新生児特別定額給付金」合計20万円の給付や、3か月児健康相談で絵本2冊を配り本に親しんでいただくブックスタート事業、母子と対面できる機会として新生児訪問または乳児全戸家庭訪問と3か月児健康相談、離乳食講習会などの支援策を講じ、特に支援が必要なご家庭には、子ども家庭総合支援課や保健センターが寄り添った支援を継続して実施しております。</p> <p>そのため、おむつ定期便の導入については現在考えておりませんが、限られた財源の中で、子育てに取り組んでおられる家庭を最大限に支援できるよう、他市の情報を収集するとともに、市民の皆様の意向に沿った施策の実施に努めてまいります。</p>	修正無し
P. 127 事業番号47 保育所・幼稚園・学校等の園庭や校庭及び体育館等の開放促進			
5	<p>土日、子供を遊ばせる場所がなくて困っています。特に乳幼児の場合、暑さ寒さに弱く、歩いて公園で遊ぶこともできないので、室内で遊ばせたいと思っておりますが、近所では徒歩30分の子ども館しかありません。</p> <p>普段通いなれた保育園や体育館を開放して</p>	<p>子ども館は、市民全体を考え土、日曜日を含めいつでも利用できるように建設しており、そのためいくつかの地区に1か所設置し、広域的に運営を行っております。全ての方の近くに設置することはできませんが、年末年始を除き、毎日開館しており、常時職員も在籍しておりますので、お近くの子ども館を利用させていただきますようお願いいたします。</p> <p>幼稚園の園庭及び小・中学校の校庭及び体育館については、野田市立学校施設使用規則第4条の規定により、学校長は、学校教育に支障がないと認められる場合において、スポーツ・レクリエー</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	欲しい。	<p>ション等の活動を目的とする社会教育関係団体等に使用許可をすることができると規定しております。このことから、各学校の体育館については、バスケットボール、バレーボール、バドミントン等の団体へ貸出しをしているため、団体以外への開放はできません。</p> <p>保育所については、平日については、園庭開放等として、月に1～4回保育所を開放していますが、土曜日については、利用児童数に応じた職員を配置しており、職員数も限られていることから、園庭開放等に対応できる職員がいないこと、また、日曜日については、休日保育実施園を除く保育所が閉所日のため、園庭開放等を実施することが難しい現状です。不特定多数の方が利用することから安全面により保育士等の職員の配置は必須であり職員確保が課題となります。</p> <p>幼児教育・保育の無償化等により高まった保育需要は依然として高止まりしており、保育士等を土曜日及び日曜日の園庭開放等に対応させることは、現時点では難しい状況です。</p>	